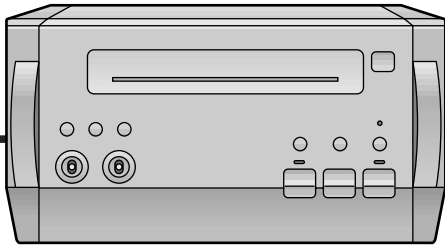


ステレオカセットデッキ 取扱説明書

品番 RS-HD615



このたびは、ステレオカセットデッキをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

そのあと保存し、必要なときにお読みください。保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

上手に使って上手に節電

保証書別添付

もくじ

安全上のご注意	2
設置	3
接続	3

テープを聞く

曲の頭出しをする	5
早送り / 巻戻しする	5

録音する

ワンタッチでCDを 編集録音する	7
---------------------	---

テープについて	8
著作権について	9
お手入れ	9
各部のなまえ	9
保証とアフターサービス	10
故障かな!?	裏表紙
主な仕様	裏表紙

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

(下記は、絵表示の一例です。)



警告

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。



この絵表示は気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。



このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

警告

ご使用について

機器内部に金属物を入れたり、水をかけたり濡らしたりしない



ショートや発熱により、火災や感電の原因になります。
機器の上に液体の入った容器や金属物を置かないでください。
特にお子様にはご注意ください。

分解、改造をしない



分解禁止

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。
内部の点検や修理は、販売店へご依頼ください。

注意

設置・接続について

油煙や湯気の当たるところや湿気やほこりの多いところに置かない



電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災や感電の原因になることがあります。

以下のことを守り正しく設置する

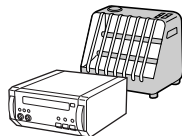
不安定な場所に置かない



上に大きなもの、重いものを載せない

機器が落ちたり、倒れたりして、けがの原因になることがあります。

異常に温度が高くなるところに置かない



機器表面や部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。
直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。

ご使用について

テープ挿入口の奥には手を入れない



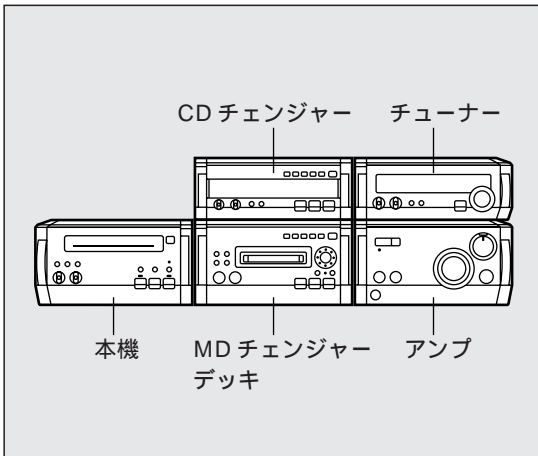
指に注意

閉まるときにはさまれて、けがの原因になることがあります。
特にお子様にはご注意ください。

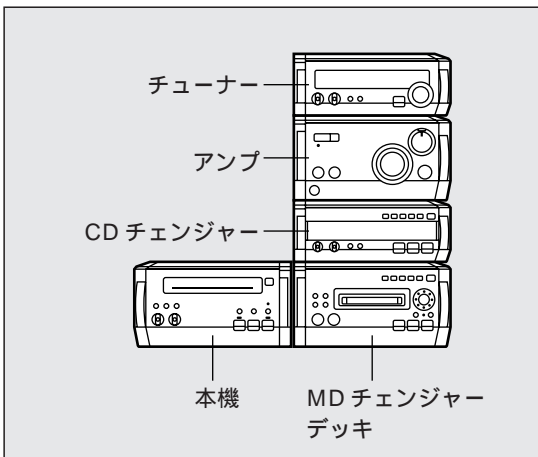
設置

MD ステレオシステム SC-HD615MD と組み合わせて、下のように設置してください。

ヨコ置きするとき



タテ置きするとき



よりよい受信のために

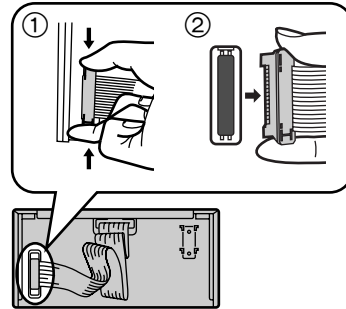
AM ループアンテナは、MD チェンジャーデッキから離して設置してください。(本機後面に取り付けることもできます)

お知らせ

本機は、SC-HD615MD 専用のステレオカセットデッキです。他の機器には使用できません。

接続

1 後面のフラットケーブルをはずす

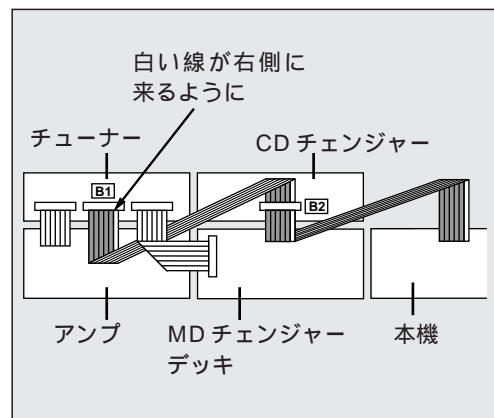


2 MD ステレオシステムとつなぐ

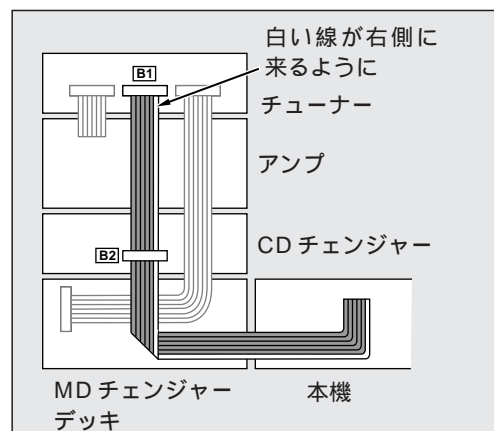
チューナーとCDチェンジャーの後面表示(B1、B2)に従い、カチッと音がするまでコネクターを順に差し込みます。

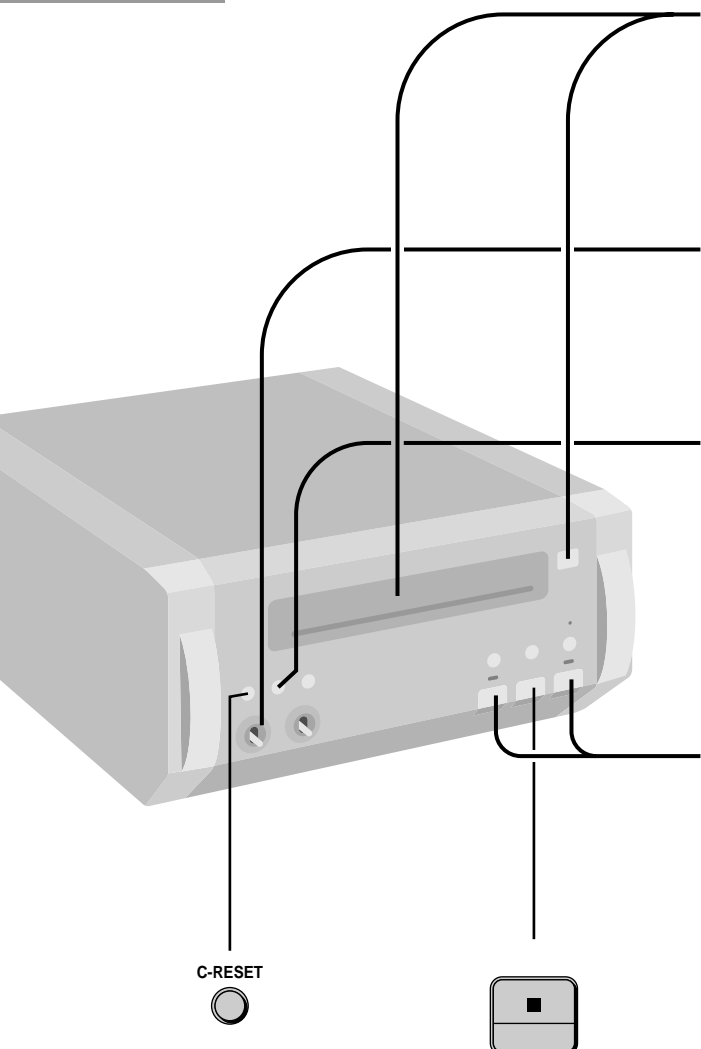
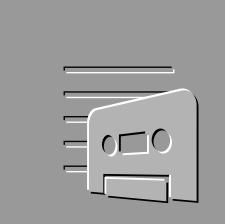
MD ステレオシステムに付属している短い方のフラットケーブル(コネクターが黒)は不要になります。

ヨコ置きするとき

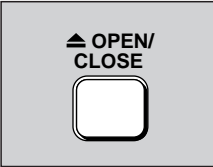


タテ置きするとき






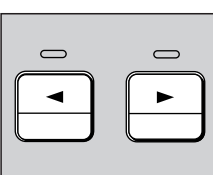
準備：アンプの電源を入れる。
自動的に本機の電源が入ります。

1  **押して**
テープを入れる
奥に当たるまで差し込み、もう一度ボタンを押してトレイを閉める。


2  **録音時の状態に合わせ**
ドルビー NR の入(ON) / 切(OFF)を選ぶ

3  **押して**
リバースモードを選ぶ

↔ : 片面だけ再生して自動停止
↔↔ : おもて面 裏面を再生して自動停止
↔↔↔ : 両面を 8 回再生して自動停止

4  **いずれかを押す**
▶ : おもて面から
◀ : 裏面から
ランプが緑色になり、再生が始まります。

途中で止めるには  **押す**

テープカウンターをリセットするには  **押す**

再生できるテープは？

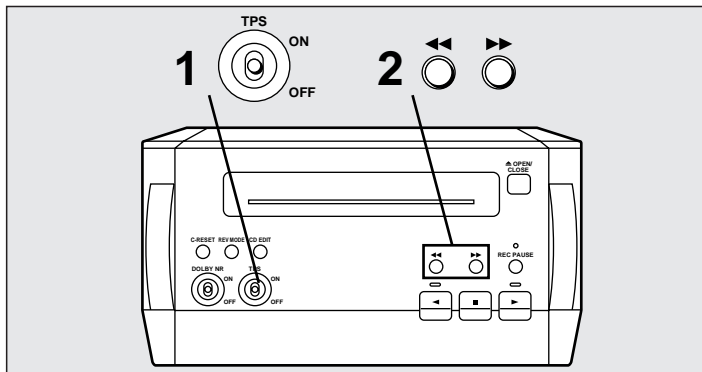
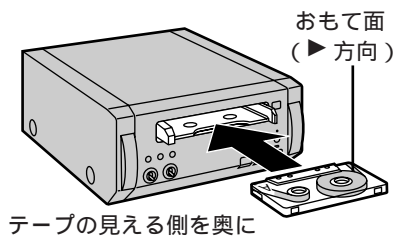
ノーマルポジション NORMAL POSITION/TYPE	
ハイポジション HIGH POSITION/TYPE	
メタルポジション METAL POSITION/TYPE	

テープの種類は自動的に判別されます。

システムに付属のリモコンで操作するには

再生する	◀/ /▶
テープを止める	
曲の頭出し、早送り / 巻戻し	◀◀/◀▶▶/▶▶
入力をテープに切り換える	[TAPE]

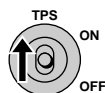
テープが入っているときは、電源「切」の状態から、リモコンの [TAPE] を押すだけで、テープが聞けます。(ワンタッチプレイ)



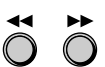
曲の頭出しをする

(TPS : テーププログラムセンサ)

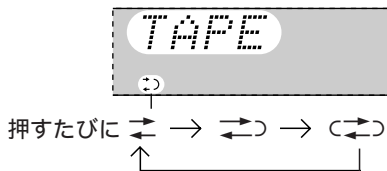
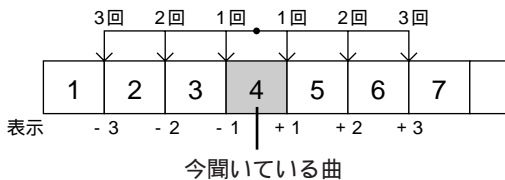
1 TPS “ON” にする



2 再生中に、ポンポンと押して
とび越し回数 (前後 9 回) を選ぶ



[◀◀]を押すと [▶▶]を押すと



押すたびに



(例 : おもて面)

使いかた

TPS 動作中にとび越し回数やテープ走行方向を変えるときは
いったんテープを止めてから行ってください。

早送り / 巻戻しする

停止中に、押す

テープ面	巻戻し	早送り
おもて面 (▶)	[◀◀]	[▶▶]
裏面 (◀)	[▶▶]	[◀◀]

本機は、早送り / 巻戻しの速さが、自動的に約 2 倍になる
高速走行機能を備えています。

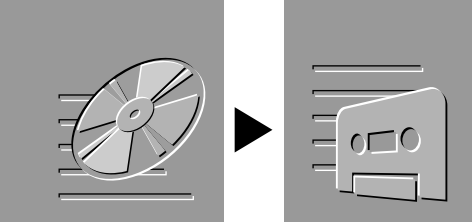
テープ終端まで来ると、自動的に普通の速さに戻ります。

お知らせ

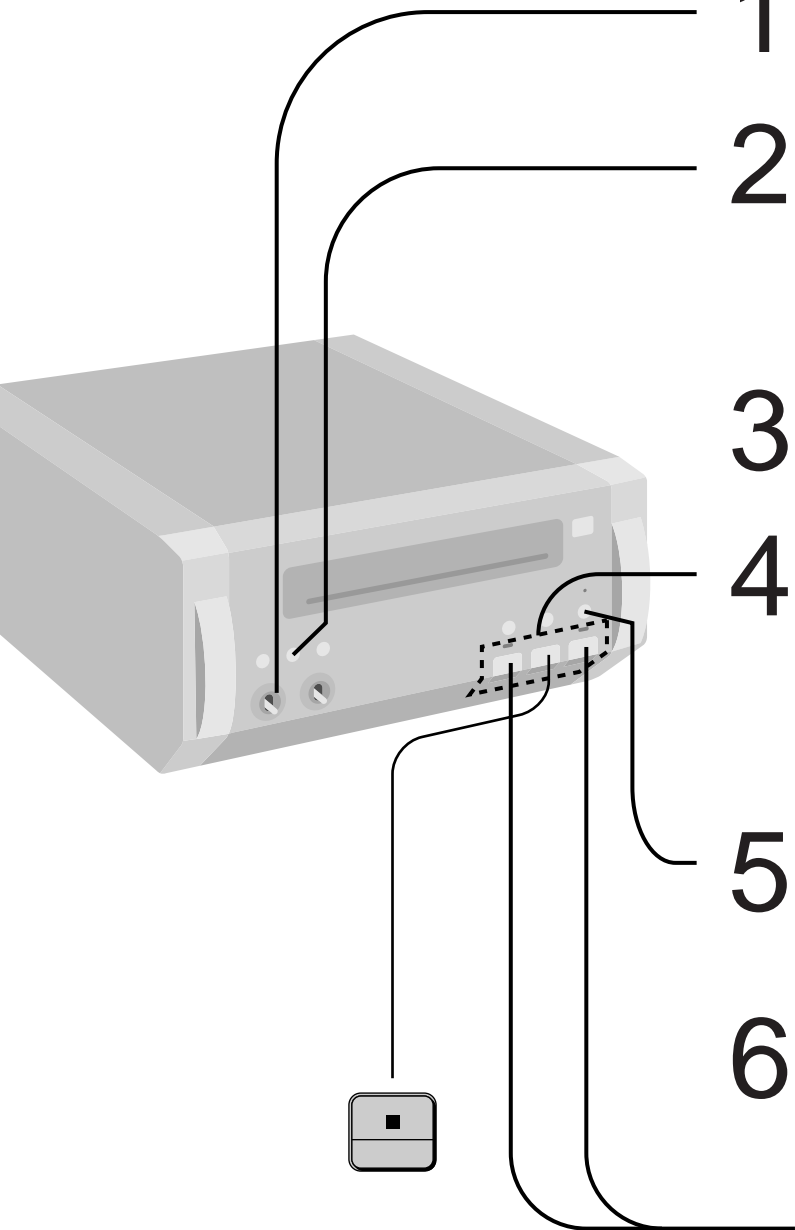
TPS 機能は、曲間の約 4 秒間の無音部を検出して働くため、以下
のような場合、正しく動作しないことがあります。

- ・ 曲間が短い
- ・ 曲間に雑音がある
- ・ 曲中に、無音に近い部分がある


TPS 動作中に [TPS] を “OFF” にしても、進行中の動作は中止
されません。頭出し動作が完了したあと、「切」になります。
テープの中間付近から早送り / 巻戻しをしたときは、高速走行しな
いことがあります。



- 準備：① アンプの電源を入れる。
② テープを入れる。

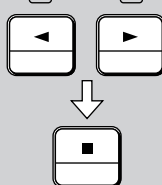


1  **ドルビー NR の入 (ON) / 切 (OFF) を選ぶ**

2  **押してリバースモードを選ぶ**


↔ : 片面だけ録音して自動停止
↔、↔ : おもて面 裏面を録音して自動停止


3 **ソース (音源) の準備をする**
ラジオ
CD、TUNER、MD、EXT (システムに接続した別売り機器)

4  **テープ走行方向を選ぶ**

▶ : おもて面から
◀ : 裏面のみ

5  **押す**
ボタンの上のランプが点灯し、録音待機状態になります。

6  **押す**
演奏と同時に録音が始まります。
[CD 側のボタン]

 **いずれかを押したあと、ソースの演奏を始める**
[本機のボタン]

録音できるテープは?

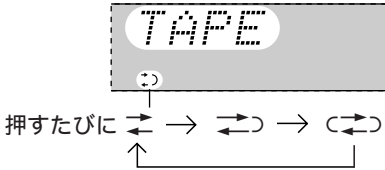
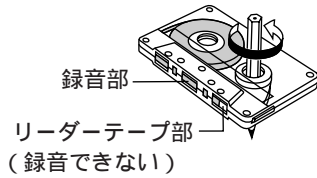
ノーマルポジション NORMAL POSITION/TYPE	
ハイポジション HIGH POSITION/TYPE	
メタルポジション METAL POSITION/TYPE	

テープの種類は自動的に判別されます。

録音を途中で止めるには

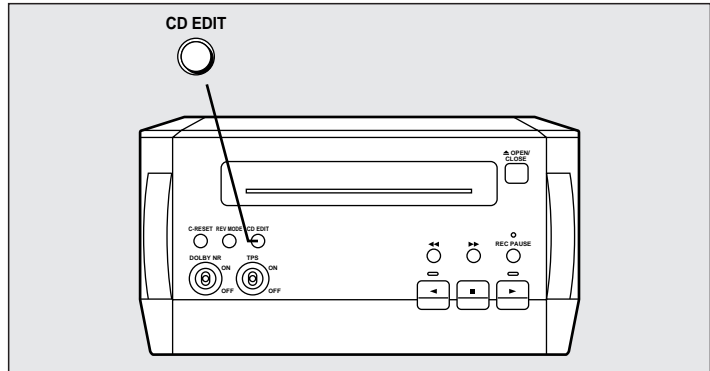
- CD のとき**
TPS 用の 4 秒間の無音部を作って止めるとき
CD 側の [] を押す。(録音待機状態になります)
無音部を作らずに止めるとき
本機の [] を押す。(CD は演奏を続けます)

テープのはじめから録音するには
リーダーテープ部を送り出す。



MDから録音するときはMDを
入れたあと、アンプの入力切換
で“MD”を選ぶ。

ワンタッチでCDを編集録音する



テープ終端で曲が途切れないように、曲を自動的にも
て面と裏面に振り分けて、CDの曲順通りに録音します。
リーダーテープ部は自動的に送り出され、おもて面から
録音が始まります。

準備：① テープを入れる。

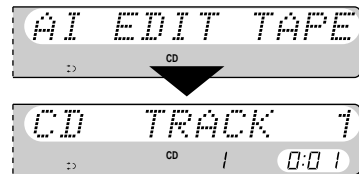
② ドルビー NR の入 / 切とリバースモードを選ぶ。

③ CDチェンジャーにCDを入れる。

CD EDIT 押す



テープが巻戻され、録音が始まります。
曲の振り分けやテープ長の計測が行われる
ため、実際の録音が始まるまでに、少し時
間がかかります。



編集録音が終わると

表示パネルに“LINK”と点滅しているときは、テープの残りに、別
のCDを続けて録音できます。CD側の[DISC1]～[DISC5]で録
音したいCDを選ぶと、自動的に録音が始まります。

録音を途中で止めるには

[]を押す。

“EDIT OUT”とスクロール表示します。

CDも自動的に止まります。

裏面にも曲が振り分けられているときは

おもて面への曲を録音完了後、本機はテープ長を計測するため、引き
続きおもて面終端まで録音(無音)を続けます。

好みの曲を予約順に録音するには

CD側で好みの曲をプログラム予約したあと、[CD EDIT]を押す。

お知らせ

“LINK”と点滅していても、CDの各曲が、テープの残り時間より長
いときはリンクできません。

CD以外のおき

本機の[]を押す。

好みの曲だけ録音するには
CD(またはMD)側で好みの曲をプロ
グラム予約したあと、上記手順を行う。

録音する

使いかた

テープについて

録音時の音量や音質効果について

アンプで音量や音質を変えても、録音される音には影響しません。

録音を消して無音テープを作るには

- ① アンプの入力切換で、“TAPE”を選ぶ。
- ② ドルビー NR を“OFF”にする。
- ③ リバースモードを選ぶ。
- ④ [REC PAUSE] を押す。
- ⑤ [◀] または [▶] を押す。

ドルビー NR システムについて

「サー」というテープ特有のノイズを減らすシステムです。録音時に高い周波数部分のレベルを上げ、再生時にその分だけレベルを下げて元に戻します。ドルビー NR の効果は、録音時と再生時を同じ状態にすることで得られます。再生または録音時のみドルビー NR を使用しても、正常な音質にはなりません。本機は、ドルビー NR の B タイプを搭載しています。

B タイプ：

ノイズは約 1/3 になります。一般に「ドルビー NR」とだけ表示された市販のミュージックテープや機器を指します。

ドルビーノイズリダクションはドルビーラボラトリーズライセンスコーポレーションからの実施権に基づき製造されています。ドルビー、DOLBY 及びダブル D 記号 **DD** はドルビーラボラトリーズライセンスコーポレーションの商標です。

保管しておくとき

次のような場所は避けてください。

直射日光の当たるところ

高温（35℃以上）や高湿（80%以上）のところ

磁気のあるところ（スピーカーの近くや、テレビの上など）

100分を超えるテープについて

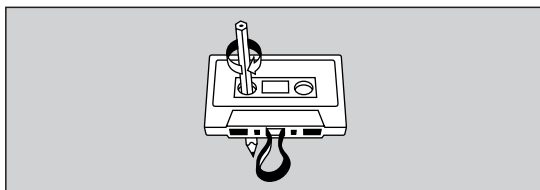
テープが薄いため、こきざみな走行、停止、早送り、巻戻しをくり返さないでください。（回転部に巻き込まれることがあります）

エンドレステープは、オートリバース対応のものを

使用方法を誤ると、テープが回転部に巻き込まれます。必ずテープに添付の使用説明をお読みください。

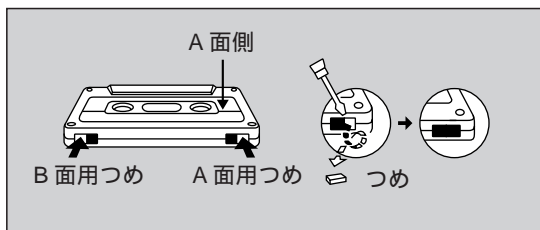
テープのたるみを巻きとってください

テープに傷がついたり、切れたりする原因になります。



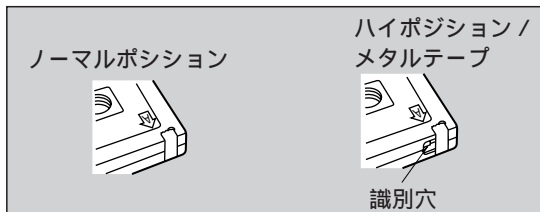
録音したテープを、誤って消さないために

ドライバーなどで、つめを折り取ってください。



もう一度録音するには

ゼロハンテープを貼ってください。



ハイポジション/メタルテープの種類識別穴は、ふさがないでください。

著作権について

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

放送やレコードその他の録音物（ミュージックテープ、カラオケテープなど）の音楽作品は、音楽の歌詞、楽曲などと同じく、著作権法により保護されています。

従って、それらから録音したテープを売ったり、配ったり、譲ったり、貸したりする場合、および営利（店のBGMなど）のために使用する場合には、著作権法上、権利者の許諾が必要です。

使用条件は、場合によって異なりますので、詳しい内容や申請、その他手続きについては、「日本音楽著作権協会」(JASRAC)の本部または最寄りの支部にお尋ねください。

日本音楽著作権協会

本部 (03)3502-6551	中部支部 (052)583-7590
北海道支部 (011)221-5088	北陸支部 (0762)21-3602
盛岡支部 (0196)52-3201	京都支部 (075)251-0134
仙台支部 (022)264-2266	大阪支部 (06)6244-0351
大宮支部 (048)643-5461	大阪北支部 (06)6244-7077
東京支部 (03)3562-4455	神戸支部 (078)322-0561
西東京支部 (03)3232-8301	中国支部 (082)249-6362
東京イベント・コンサート支部 (03)5286-1671	四国支部 (0878)21-9191
立川支部 (0425)29-1500	九州支部 (092)441-2285
横浜支部 (045)662-6551	鹿児島支部 (0992)24-6211
静岡支部 (054)254-2621	那覇支部 (098)863-1228

お手入れ

本体が汚れたら

柔らかい布で拭いてください。

ひどい汚れは、薄めた台所用洗剤（中性）を含ませた布でふき、後はからぶきしてください。

アルコールやシンナーは使わないでください。

化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

テープの音を、よい音でお楽しみいただくために

約10時間使うごとに、市販のクリーニングテープで、ヘッド部を清掃されることをおすすめします。

各部のなまえ

（④などの白抜き数字は参照ページです）

カウンターリセット

C-RESET

（カウンターリセット）

ボタン④

レックポーズ

REC PAUSE（録音待機）

ボタンとランプ⑥

リバースモード

REV MODE

（リバースモード切換）

ボタン④

オープン クローズ

▲OPEN/CLOSE

（テープトレイ開閉）

ボタン④

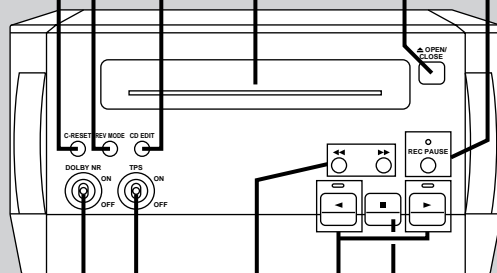
エディット

CD EDIT

（CD編集録音）

ボタン⑦

テープトレイふた



（早送り / 巻戻し）

ボタン⑤

（停止）

ボタン④

テーププログラムセンサ

TPS（頭出し切換）

つまみ⑤

◀・▶（再生 / 録音開始）

ボタンとランプ④

テープの走行方向を示すランプは、状態によって色が変わります。

停止、早送り / 巻戻ししたとき：オレンジ

再生、録音、曲の頭出しのとき：緑

トリビノイズリダクション

DOLBY NR

（ドルビーノイズリダクション切換）

つまみ④

テープについて / 著作権について

必要とき

お手入れ / 各部のなまえ

修理・お取扱い・お手入れ
などのご相談は・・・
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

転居や贈答品でお困りの場合は・・・

修理は、サービス会社・販売会社の「修理
ご相談窓口」へ!

その他のお問い合わせは、「お客様ご相談セ
ンター」へ!

保証書(別添付)

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確
かめ、お買い上げの販売店からお受け取りく
ださい。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

修理を依頼されるとき

裏表紙の表に従ってご確認のあと、直らない
ときは、まずフラットケーブルを抜いて、お
買い上げの販売店へご連絡ください。

保証期間中は

保証書の規定に従って、出張修理をさせてい
ただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希
望により有料で修理させていただきます。

ただし、ステレオカセットデッキの補修用性
能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後6
年です。

(この期間は通商産業省の指導によるものです)

注)補修用性能部品とは、その製品の機能を
維持するために必要な部品です。

修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで
構成されています。

技術料 は、診断・故障個所の修理および部
品交換・調整・修理完了時の点検など
の作業にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助
材料代です。

出張料 は、製品のある場所へ技術者を派遣
する場合の費用です。

ナショナル/パナソニック

お客様ご相談センター

パナは 365日
0120-878-365

フリーダイヤル(料金無料)

365日/受付9時~20時

International Customer Care Center

ナショナル/パナソニック 海外ご相談センター

Consultation about products of specifications (export
models, overseas production models and tourist models)

海外仕様商品(輸出商品・海外生産品・ツーリスト製品)に
ついてのご相談は

TOKYO ☎ (03)3256-5444

OSAKA ☎ (06)6645-8787

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめ
ご了承ください。

0699

ナショナル/パナソニック 修理ご相談窓口

北海道地区

札幌 ☎ (011)894-1251
札幌市厚別区厚別南
2丁目17-7
旭川 ☎ (0166)31-6151
旭川市2条通21丁目
左1号

帯広 ☎ (0155)33-8477
帯広市西19条南
1丁目7-11
函館 ☎ (0138)48-6631
函館市西桔梗589番地
241(函館流通卸
センター内)

東北地区

青森 ☎ (0177)39-9712
青森市大字ハッ役
字矢作1-37
秋田 ☎ (018)826-1600
秋田市御野湯本
2丁目1-2
岩手 ☎ (019)639-5120
盛岡市羽場13地割
30-3

宮城 ☎ (022)375-2512
仙台市泉区市名坂
字清水端59-2
山形 ☎ (023)641-8100
山形市流通センター
3丁目12-2
福島 ☎ (0243)34-1301
福島県安達郡本宮町
字南/内65

首都圏地区

栃木 ☎ (028)689-3321
宇都宮市御幸町
194-20
群馬 ☎ (027)352-1217
高崎市萩原町沖中
205-18
水戸 ☎ (029)225-0119
水戸市柳河町309-2
つくば ☎ (0298)64-8090
つくば市花畑2丁目
8-1
埼玉 ☎ (048)728-8960
桶川市赤堀2丁目4-2
千葉 ☎ (043)208-6011
千葉市中央区
星久喜町172

船橋 ☎ (047)334-5111
船橋市本中山6丁目
11-7
柏 ☎ (0471)63-8905
柏市北柏1丁目6-6
東京 ☎ (03)5477-9780
東京都世田谷区宮城
2丁目26-17
山梨 ☎ (0552)22-5171
甲府市下飯田2丁目
1-27
神奈川 ☎ (045)847-9720
横浜市港南区日野
5丁目3-16
新潟 ☎ (025)286-7725
新潟市東明1丁目
8-14

中部地区

石川 ☎ (076)294-2683
石川県石川郡野々市町
稲荷3丁目80
富山 ☎ (0764)32-8705
富山市寺島1298
福井 ☎ (0776)54-5606
福井市開発4丁目112
長野 ☎ (0263)58-0073
松本市大字笹賀
7600-7
静岡 ☎ (054)287-9000
静岡市西島765

名古屋 ☎ (052)819-0225
名古屋瑞穂区
塩入町8-10
岡崎 ☎ (0564)55-5719
岡崎市岡町南久保28
岐阜 ☎ (058)323-6010
岐阜県本巣郡北方町
高屋太子2丁目30
高山 ☎ (0577)33-0613
高山市花岡町3丁目82
三重 ☎ (059)255-1380
久居市森町字北谷
1920-3

近畿地区

滋賀 ☎ (077)582-5021
守山市勝部町6丁目
2-1
京都 ☎ (075)672-9636
京都市南区
上鳥羽石橋町20-1
大阪 ☎ (06)6359-6225
大阪市北区本庄西
1丁目1-7

奈良 ☎ (0743)59-2770
大和郡山市椎木町
404-2
和歌山 ☎ (0734)75-1311
和歌山市中島499-1
兵庫 ☎ (078)272-6645
神戸市中央区
琴ノ緒町3丁目2-6

中国地区

鳥取 ☎ (0857)26-9695
鳥取市安長295-1
米子 ☎ (0859)34-2129
米子市米原4丁目
2-33
松江 ☎ (0852)23-1128
松江市西津田2丁目
10-19
出雲 ☎ (0853)21-3133
出雲市渡橋町416

浜田 ☎ (0855)22-6629
浜田市下府町
327-93
岡山 ☎ (086)292-1162
岡山県都窪郡早島町
矢尾807
広島 ☎ (082)295-5011
広島市西区南観音
8丁目13-20
山口 ☎ (0839)86-4050
山口市鑄銭司
字鑄銭司団地北
447-23

四国地区

香川 ☎ (087)868-9477
高松市勅使町152-2
徳島 ☎ (0886)98-1125
徳島県板野郡北島町
鯛浜字かや108

高知 ☎ (0888)66-3142
南国市岡豊町中島
331-1
愛媛 ☎ (089)971-2144
松山市土居田町
750-2

九州地区

福岡 ☎ (092)593-9036
春日市春日公園
3丁目48
佐賀 ☎ (0952)26-9151
佐賀市本庄町
大字本庄896-2
長崎 ☎ (095)830-1658
長崎市東町1949-1
大分 ☎ (097)556-3815
大分市萩原4丁目
8-35
宮崎 ☎ (0985)85-6530
宮崎県宮崎郡清武町
下加納366-2

熊本 ☎ (096)367-6067
熊本市健軍本町12-3
天草 ☎ (0969)22-3125
本渡市港町18-11
鹿児島 ☎ (099)250-5657
鹿児島市与次郎
1丁目5-33
大島 ☎ (0997)53-5101
名瀬市矢之脇町
10-5

沖縄地区

沖縄 ☎ (098)877-1207
浦添市城間4丁目23-11

保証とアフターサービス

必要なとき

よくお読みください

故障かな!?

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。なお、これらの処置をしても直らない場合や、この表以外の症状は、お買い上げの販売店にご相談ください。

こんなとき	ここをご確認ください	処置	参照ページ
音が小さい。音が切れる。	ヘッド部が汚れていませんか。	ヘッド部を清掃する。	9
音質がよくない。 雑音が多い。 音がかすれたり、ふるえる。	ドルビー NR の切換をまちがえていませんか。	ドルビー NR の切換を、録音時の状態に合わせる。	4
録音状態にならない。	録音用のつめを折っていませんか。	つめを折った部分にテープを貼る。	8

主な仕様

オーディオ部
トラック方式 : 4トラック 2チャンネル
ステレオ
周波数範囲 (NR off)
TYPE
(ノーマルポジション): 30Hz ~ 16kHz (EIAJ)
TYPE
(ハイポジション) : 30Hz ~ 16kHz (EIAJ)
TYPE
(メタルポジション) : 30Hz ~ 16kHz (EIAJ)
SN比 (TYPE テープ)
NR off : 54dB (EIAJ)
Dolby B NR : 64dB (A WTD 315Hz 3%
第3次ひずみ率)

モーター
キャプスタン : DCサーボモーター
リール : DCモーター
早巻時間 : 約52秒 (C-60)
ワウ・フラッター : 0.1% (WRMS)

総合
電源 : アンプから供給
寸法 (幅×高さ×奥行き) : 200 × 104.5 × 267mm
質量 : 1.6kg

この仕様は、性能向上のため、変更することがあります。



この取扱説明書はエコマーク認定の再生紙を使用しています。



この取扱説明書の印刷には、植物性大豆油インキを使用しています。

愛情点検

長年ご使用のステレオカセットデッキの点検を!



こんな症状はありませんか

- ・煙が出たり、異常なおいや音がする
- ・音が出ないことがある
- ・正常に動作しないことがある
- ・商品に破損した部分がある
- ・その他の異常や故障がある



このような症状の時は使用を中止し、故障や事故の防止のために、必ず販売店に点検をご相談ください。

便利メモ (おぼえのため、記入されると便利です。)

販売店名	☎ () -	お買い上げ日	年 月 日
お客様 ご相談窓口	☎ () -	品番	RS-HD615

松下電器産業株式会社 オーディオ事業部

〒571-8505 大阪府門真市松生町1番4号

© Matsushita Electric Industrial Co., Ltd. (松下電器産業株式会社) 1999

RQT5181-S

F0999TK0(D)